

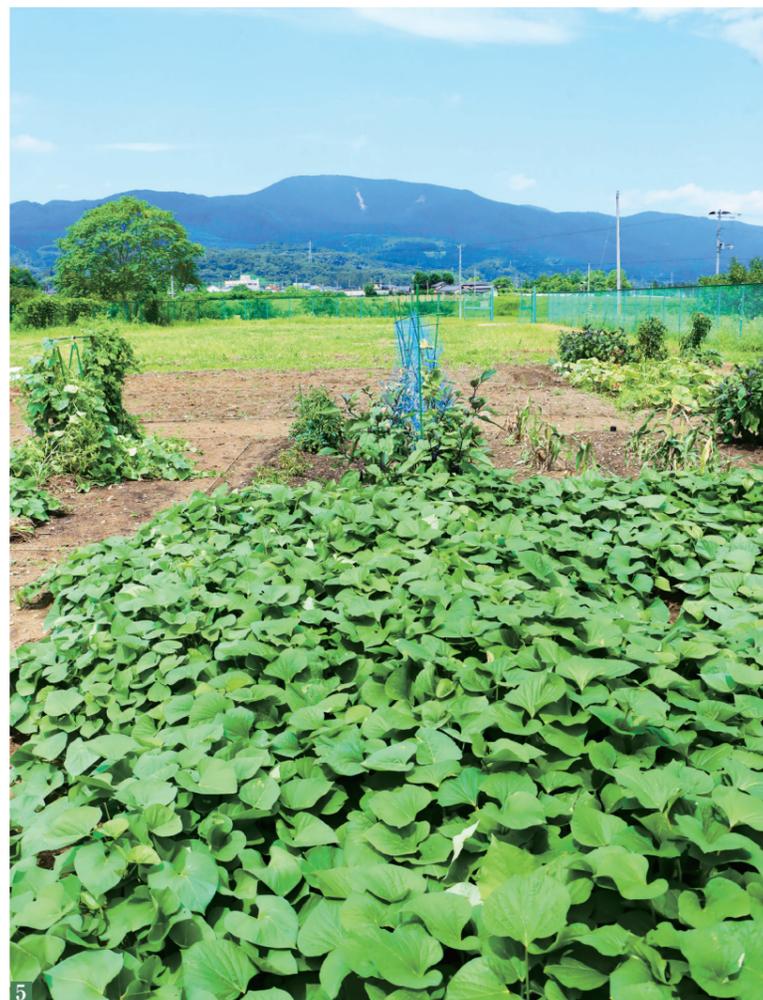
### 残り10区画 / 市民農園 利用者募集

**場所** 下郡字街道南20-1ほか  
**料金** 1区画25㎡(5m×5m)あたり年間3,000円※  
**対象** 町在住・在勤、移住を検討している人など  
 ※年度途中の場合は月割の額

- 利用期間は、翌年3月31日まで(更新可能)です。
  - 利用者自身で耕作管理し、栽培する作物の苗や種、肥料を準備してください(果樹・花木は栽培不可)。
  - 栽培に悩んだ時は、栽培相談員が相談に乗ります。
- ★利用初年度は、肥料をサービス!  
 農産振興課 ☎582-2126



1\_「自分が好きな野菜を好きなだけ、自由に栽培できて楽しい」と話す菊地さん 6、7\_太陽の光をたっぷり浴びて、ナスやネギも順調に成長



5\_半田山を正面に臨む、絶景のロケーション



# 市民農園「こおりニコニコファーム」、初収穫 おいしい野菜を、自分の手で

今春始まった、市民農園「こおりニコニコファーム」。就農を考えている人が勉強のために始めたり、普段土に触れることのない生活をしている人が気軽に農作業を楽しんだり、さまざまな目的で、現在8組の家族や団体が参加しています。自然の中で、ゆったりまったりと過ごす、グリーンライフ。あなたも、自分の手で、野菜づくりを始めてみませんか。

## 自然・食・人と触れ合う市民農園

夏も折り返しとなる8月、市民農園「こおりニコニコファーム」で、初めての収穫作業が行われました。

今年6月に埼玉県から移住してきた永傳龍規さんは、家族全員で農園へ。

「これがゴーヤだよ。大きく育ったね」「このナスは、どんな料理

にして食べようか」など、子どもたちと会話をしながら、収穫作業を楽しみました。

妻の美夏さんは「長男の偏食がきっかけで、農園を始めてみようと思った。種まきから水やり、収穫までも体験させてあげたい。野菜がどんな風に育ち、どんな花を咲かせ、どんな実をつける

「ずっと自分で野菜をつくるのが夢だった」と語る菊地れい子さん。70歳を迎え、ある程度仕事もひと段落。「野菜づくりには挑戦してみよう」と農園を始めました。

2区画の土地を借り、ナスやネギ、ズッキーニ、枝豆、かぼちゃなど、10種類以上の野菜を育てています。「深く考えずに、まずは、食べたい野菜を植えよ

2、3、4\_待ちに待った収穫日、コミュニケーションを取りながら、農作業を楽しむ永傳さん親子



のか、子どもたちに知ってほしいし、自分で育てたものならおいしく食べられるのではないかと思って。スーパーに並んでいる野菜に対しても、農家さんが一生懸命に育てていることを感じ、感謝の気持ちをもって食べてもらえたら」と話します。

地域の人と関わることができるとも、市民農園の良いところ。「栽培方法に困っていた時、農園で会った人に『こうした方がいいよ』と優しく教えてもらった。市民農園を通じて、町の皆さんと知り合い、つながりができてうれしい」と顔をほころばせます。

「う」と楽しみながら、自分らしい農園づくりに励んでいます。専門書を読み、独学での農作業。「初心者なのに、こんなにたくさん野菜を収穫できるとは思わなかった。旬な野菜を新鮮なうちに食べられるなんて幸せ。実だけでなく、花を見るのも楽しい」とほほ笑みます。

自宅から少し足を延ばして、気軽に農作業を体験できる「市民農園」。コロナ禍の今、自然と触れ合うことで心を癒したり、農作業を通じて、地域の人と交流したりするなど、利用者はさまざまな楽しみ方を見つけています。ぜひあなたも、利用してみませんか。